

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	
①学生の確保の見通し	p. 2
ア 定員充足の見込み	p. 2
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	p. 2
②学生確保に向けた具体的な取組状況	p. 2
(2) 人材需要の動向等社会の要請	
①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	p. 2
②上記①が社会的，地域的な人材需要の動向等を踏まえたもので あることの客観的な根拠	p. 3
添付資料	
資料1：一般（前期日程）入学試験志願者数及び第1段階 選抜実施状況	p. 4
資料2：推薦入学試験志願者数	p. 5
資料3：長野県からの医学部推薦入試増員要望書	p. 6

学生の確保の見通し等について

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

本学では、推薦及び一般（前期日程）にて入学試験を実施している。一般（前期日程）では【資料 1】のとおり過去 5 年間で多くの志願者を確保している。また、長野県内の高校出身者を対象とした推薦についても、【資料 2】のとおり継続的な志願者確保を行っている。これらのことから入学定員の再度の増員を行っても、引き続き優秀な学生の確保が行えると見込まれる。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

前項アで挙げた根拠データの詳細な内容は以下のとおりである。

1) 過去の入学者数及び入学志願実績

一般（前期日程）志願者数及び第 1 段階選抜実施状況を【資料 1】に示した。

2) 推薦志願者数

長野県内の高校出身者を対象とした推薦を【資料 2】に示した。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

7 月 15 日に「信州大学令和 5 年度入学者選抜要項」にて再度の入学定員増員の構想を公表し、7 月 16 日に開催された高校教員向けの信大ガイダンスにて高校教員に周知を行うとともに、例年 6～7 月に行っている推薦入学の入学実績がある高校への説明会を本年度は 12 校から計 382 名の参加申込があり、開催した。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

医学及び医療に関する分野の高度な研究を行うとともに、豊かな人間性と広い学問的視野を持ち、柔軟な思考力及び洞察力並びに問題を自発的に発見し、解決する能力を身につけた医師及び医学研究者並びに医療技術者及び医療研究者を育成し、医学及び医療研究並びに医療活動による国際貢献を果たし、地域医療の発展に寄与することを目的とする。この目的の下、医師の地域偏在が深刻になっている長野県内で、唯一の医学系大学である本学医学部医学科の入学定員 15 名を再度増員することによって、県内の地域医療を担う医師不足の解消に貢献する。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

医師数の地域間格差は依然として大きな社会問題となっており、地方では診療科全般にわたって、住民が十分な医療を受けられない事態が生じている。

この事態に対応するため本学は長野県とも連携の上、医学部医学科の入学定員について上記のとおり増員を行ってきたところである。

県内の医師不足が続く長野県唯一の医学系大学である信州大学医学部は、県民に質の高い医療を将来にわたって提供するため、県と連携して医師不足の解消に向けた取り組みを行っているところではあるが、2019年2月に医師偏在指標（暫定値）が示され、長野県は全国38位の医師少数県とされており、依然厳しい状況は続いている。

地域の医師確保という面では、医学部医学科卒業生の内、他県出身者を含めて約50%程度が長野県内に定着し地域医療に貢献してきた。県内高校出身者に至っては約80%程度の卒業生が卒業後も長野県内に定着して、地域の医療を支えている。また、今回増員を申請する15名については、学校推薦型選抜において長野県医学生修学資金の貸与を必須とすることを出願要件とする「地域枠」の定員とし、確実に長野県内に定着するよう入試を実施するとともに、長野県からの要請（【資料3】）に引き続き対応できるよう、推薦入試全体の定員は25名を計画している。このことから、今回の医学部医学科入学定員の再度の定員増に伴い、県内で定着し活躍する医師の供給につながることを期待できる。

【資料1】

一般（前期日程）入学試験志願者数及び第1段階選抜実施状況

年度	募集人員	志願者数	第1段階 選抜合格者数	入学者数	志願 倍率	定員 充足率
令和4	95	383	未実施	95	4.03	100%
令和3	95	476	380	95	5.01	100%
令和2	95	372	未実施	95	3.92	100%
令和元	100	625	500	100	6.25	100%
平成30	100	482	未実施	100	4.82	100%

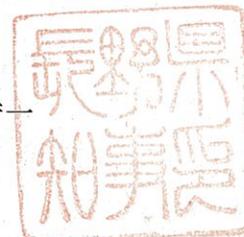
推薦入学試験志願者数

年度	募集人員	志願者数	入学者数	志願倍率	定員充足率
令和4	25	82	25	3.28	100%
令和3	25	67	25	2.68	100%
令和2	25	73	25	2.92	100%
令和元	20	61	20	3.05	100%
平成30	20	71	20	3.55	100%

元医確第 22 号
令和元年（2019 年）6 月 20 日

国立大学法人
信州大学医学部長 中山 淳 様

長野県知事 阿部守一



令和 2 年度医学部推薦入試定員の増員について

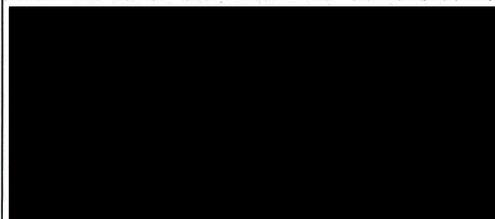
日頃、県行政に対しまして格別のご支援・ご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、昨年 7 月の「医療法及び医師法の一部を改正する法律」により、地域間の医師偏在を解消し、地域における医療提供体制を整備するため、都道府県における医療計画の一部として「医師確保計画」の策定が義務付けられました。

また、本年 2 月には、厚生労働省より医師の偏在を統一的・客観的に示す「ものさし」として医師偏在指標（暫定値）が示され、本県は全国 38 位の医師少数県とされております。

このように、県内の医師不足・医師の偏在は引き続き厳しいものがあり、将来県内で勤務する医師をさらに確保する必要があるため、貴大学医学部の推薦入試定員について県内高校出身者の 5 名増員につきご配慮いただきますようお願い申し上げます。

健康福祉部 医療推進課 医師確保対策室



(別紙)

医学部推薦入試定員の増員について

将来県内で勤務する医師を確保するため、県内高校出身者を対象とした信州大学医学部推薦入試枠の定員について、5名の増員を要望します。



信州大学医学部へ推薦入試の定員増を要請します

県は、将来県内で勤務する医師を確保するため、信州大学医学部に対し県内高校出身者を対象とした推薦入試の定員について、5名の増員を要請します。

1 日時

令和元年6月20日(木) 9時30分から

2 要請先及び場所

信州大学医学部長 中山 淳

信州大学医学部長室(松本市旭3-1-1)

3 要請者

長野県健康福祉部長 大月 良則

4 要請内容

○信州大学医学部推薦入試定員を5名増員

令和元年度		令和2年度
20名	⇒	25名(+5名)

<参考(令和2年度想定)>

○定員 120名	一般入試	95名
	推薦入試	25名(内訳)

○地元出身者枠	10名
○地域枠	15名

4 その他

・詳細については、県庁医師確保対策室にお問い合わせください。

(電話番号 026-235-7144)

・入試等、大学へのお問い合わせについては信州大学医学部医学科入試事務室へお問い合わせください。(電話番号 0263-37-3419)

確かな暮らしが営まれる美しい信州
～学びと自治の力で拓く新時代～

しあわせ信州創造プラン 2.0 (長野県総合5か年計画) 推進中

世界一の健康長寿を目指す 信州ACE(エース)プロジェクト推進中



健康福祉部 医療推進課 医師確保対策室

